

さらなる高みへ 越えるべき“壁”



AFCビーチサッカーアジアカップ日本代表

きぶね ゆうき

木船 祐樹 さん

令和5年3月16日～26日、タイ・パタヤで開催された『AFCビーチサッカーアジアカップ タイ2023』。日本は、決勝で強豪・イランに敗れ、大会連覇は果たせなかったものの、11月に開かれるビーチサッカーワールドカップの出場権を獲得した。

日本代表メンバーで、合志市在住の木船祐樹さん（アヴェルダージ熊本BS所属）は、6試合で3ゴール・2アシストと活躍。しかし、「自分の力を出し切れた自信がない。主力選手として、海外の選手たちと戦うために、もっと必要なものがあると感じた」と、納得はしていなかった。「決勝で対戦したイランとは、技術に差はないと思った。常に試合で良いパフォーマンスを出せるかどうか。それが、ワールドカップをはじめ、日本代表に選ばれ続けるカギになる」と言う。

国内のトップリーグを戦う、所属チームのアヴェルダージ。5月12日～14日には熊本での試合を控えている。アジアカップを経た木船さんは、国内で結果を残すのは当然のこと、ビーチサッカーの世界では珍しくない、海外のクラブチームへの短期移籍も視野に入れている。「海外の選手と対峙した時の“間”や威圧感など、国内では感じられないものがたくさんある。海外での経験も積まないと越えられない“壁”がある」――。

合志市からアジア、そして世界の舞台へ。さらなる高みを目指して、木船さんの挑戦は続く。